

令和4年度第3回理事会議事録

1. 日 時：令和4年7月10日（日）10：00～14：00
2. 場所：青森県観光物産館アスパム（4階 十和田）
青森市安方1丁目1-40 Tel：017-735-5311
3. 出席者：奥沢悦子、吉田泰憲、木村正彦、須藤安史、逆井久美子、川口裕美、佐藤舞、高松みどり、小山内誠、津嶋里奈、齋藤賢、鹿摩悟、中村安孝、河村義雄、國分慎、四釜育与、田村栄子、吉岡治彦、石山雅大
オブザーバー：野坂知加、吉岡拓朗、本田昌樹
欠席者：齋藤浩治

定款第5章第32条及び諸規定により、議長に奥沢会長があたり、書記に齋藤賢理事が指名され、審議が行われた。

【報告事項】

1. 学術部経過報告
吉田学術部長より特になしと報告があった。
2. 公益部経過報告
木村公益部長より特になしと報告があった。
3. 渉外部経過報告
須藤渉外部長より特になしと報告があった。
4. 事務局経過報告
逆井事務局長より70周年記念誌についての以下の報告があった。
以前、会誌担当と記念誌担当が同じ支部で大変だったことから、会誌は東青支部が担当し、70周年記念誌は三八支部が担当することとなった。
5. 奥沢会長からの報告
① 日臨技総会について
令和4年6月25日、日臨技総会が開催され、新たな執行体制が決定された。
宮島会長からは、会員数は現在約7万人近くいること。臨床検査の求められ方が異なってきたこと。人口減少社会において臨床検査、検査技師の存在意義を考え、常に進化する体制を作る必要があること等が述べられた。

② タスク・シフト/シェア講習会について

9/11（日）東奥日報新町ビルで開催予定。齋藤（浩） 監事が窓口。

応援の実務員が1名不足している。

【議題】

1. 令和4、5年度担当について

令和4年度総会、第三号議案で承認された理事における令和4、5年度の各担当は以下のとおり決定した。

役職	担当	氏名	
会長		奥沢 悦子	八戸市立市民病院
副会長	学術部長	吉田 泰憲	青森労災病院
副会長	公益部長	木村 正彦	弘前大学医学部附属病院
常任理事	渉外部長	須藤 安史	八戸市立市民病院
常任理事	事務局長	逆井久美子	八戸赤十字病院
理事	会計	川口 裕美	八戸市医師会検査センター
理事	事務局補佐（学術）	佐藤 舞	青森県立中央病院
理事	事務局補佐（公益）	高松みどり	むつ総合病院
理事	事務局補佐（渉外・HP）	小山内 誠	つがる総合病院
理事	庶務（組織調査）	津嶋 里奈	青森市民病院
理事	庶務（会報・議事録）	齋藤 賢	あおもり協立病院
理事	学術	中村 安孝	むつ総合病院
理事	学術	鹿摩 悟	かなぎ病院
理事	公益	國分 慎	十和田市立中央病院
理事	公益	四釜 育与	黒石病院
理事	渉外	河村 義雄	青森労災病院
理事	渉外	田村 栄子	株式会社 LSI メディエンス 青森市医師会ラボ
理事	渉外	吉岡 治彦	弘前大学大学院保健学研究科
監事		齋藤 浩治	青森市民病院
監事		石山 雅大	弘前大学医学部附属病院

2. 事務局の業務スリム化について

吉田副会長より以下の提案があった。

- ① 研修会や学会の日臨技への参加登録を個人でお願いします。
 - ・研修会参加登録用マニュアルを作成してHPのトップページに掲載する。
 - ・研修会の案内と共にコードとパスワードを掲載する。
これまでと同様にzoomの最後に表示することも継続する。
 - ・参加登録のマニュアル化は吉田副会長が担当する。
- ② 各支部の研修会は各支部の事務局が日臨技に登録する。
 - ・事務局から各支部の事務局へ連絡し周知させる。
 - ・日臨技への研修会登録方法のマニュアル化は吉田副会長が担当する。
- ③ 永年会員について
 - ・日臨技に所属したまま永年会員になると12月に会費の免除の登録を2週間間にやらなければならない。手間がかかっている。
 - ・定款の内容を変更する場合は総会での承認が必要なため、今後の検討課題となった。

3. 青森県医学検査学会について

中村理事より開催日時や場所等の提案があった。

- 1) 日時：令和5年6月18日（日）
- 2) 場所：むつプラザホテル
- 3) 基本的に現地開催でweb配信も行うが、発表者と座長は現地参加を考えている。
- 4) 参加費は無料
- 5) 総会と学会は同日に開催する。
タイムスケジュールは演題数などにもよるが基本は今年度と同じ流れにすることとなった。

4. 会誌の原稿について

- ・チェック体制を変更する。
構成された最終原稿を投稿者が見て承諾されれば確定とする。
- ・論文の査読は最低2人で行う。
- ・演題募集の時に会誌に「原稿もご協力お願いします」と記載する。
- ・県学会以外の論文を掲載する場合、見出しを変える必要がある。

5. 精度管理について

学術からテーマを与えてみてはどうかという意見があった。

引き続き今後の検討課題となった。

6. 今後の課題について

県学会を6支部で運用継続するのは難しいため、大きな括りで開催してはどうか。

という提案があった。県学会の担当サイクルが早くなることに反対意見が出る可能性もあり、各支部の意見を伺いながら引き続き検討することとなった。

7. その他

- ・吉田副会長より組織調査ではパソコンの頻度が高いが現在専用のパソコンが無い。組織調査担当者用のパソコンを購入してもよいかという提案があった。

上記の事項について理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。

会長

印

監事

印

印